

令和 4 年度

財務諸表4表

(円単位)

貸 借 対 照 表

行政コスト計算書

純資産変動計算書

資金収支計算書

附 属 明 細 書

注 記

和歌山地方税回収機構

貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

自治体名: 和歌山地方税回収機構

会計: 一般会計

(単位: 円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	-	固定負債	-
有形固定資産	-	地方債	-
事業用資産	-	長期未払金	-
土地	-	退職手当引当金	-
立木竹	-	損失補償等引当金	-
建物	-	その他	-
建物減価償却累計額	-	流動負債	7,861,716
工作物	-	1年内償還予定地方債	-
工作物減価償却累計額	-	未払金	-
船舶	-	未払費用	-
船舶減価償却累計額	-	前受金	-
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	-
航空機	-	預り金	7,861,716
航空機減価償却累計額	-	その他	-
その他	-	負債合計	7,861,716
その他減価償却累計額	-	【純資産の部】	
建設仮勘定	-	固定資産等形成分	139,000,000
インフラ資産	-	余剰分(不足分)	768,889
土地	-		
建物	-		
建物減価償却累計額	-		
工作物	-		
工作物減価償却累計額	-		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	-		
物品	-		
物品減価償却累計額	-		
無形固定資産	-		
ソフトウェア	-		
その他	-		
投資その他の資産	-		
投資及び出資金	-		
有価証券	-		
出資金	-		
その他	-		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	-		
長期貸付金	-		
基金	-		
減債基金	-		
その他	-		
その他	-		
徴収不能引当金	-		
流動資産	147,630,605		
現金預金	8,630,605		
未収金	-		
短期貸付金	-		
基金	139,000,000		
財政調整基金	139,000,000		
減債基金	-		
棚卸資産	-		
その他	-		
徴収不能引当金	-		
資産合計	147,630,605	純資産合計	139,768,889
		負債及び純資産合計	147,630,605

行政コスト計算書

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

自治体名:和歌山地方税回収機構

会計:一般会計

(単位:円)

科目	金額
経常費用	113,034,285
業務費用	37,273,510
人件費	16,282,881
職員給与費	7,304,283
賞与等引当金繰入額	-
退職手当引当金繰入額	-
その他	8,978,598
物件費等	20,799,229
物件費	20,799,229
維持補修費	-
減価償却費	-
その他	-
その他の業務費用	191,400
支払利息	-
徴収不能引当金繰入額	-
その他	191,400
移転費用	75,760,775
補助金等	75,760,775
社会保障給付	-
他会計への繰出金	-
その他	-
経常収益	303,800
使用料及び手数料	-
その他	303,800
純経常行政コスト	112,730,485
臨時損失	-
災害復旧事業費	-
資産除売却損	-
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	-
臨時利益	-
資産売却益	-
その他	-
純行政コスト	112,730,485

純資産変動計算書

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

自治体名:和歌山地方税回収機構
会計:一般会計

(単位:円)

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)	
前年度末純資産残高	129,497,374	129,000,000	497,374	
純行政コスト(△)	-112,730,485		-112,730,485	
財源	123,002,000		123,002,000	
税金等	104,002,000		104,002,000	
国県等補助金	19,000,000		19,000,000	
本年度差額	10,271,515		10,271,515	
固定資産等の変動(内部変動)		10,000,000	-10,000,000	
有形固定資産等の増加		-	-	
有形固定資産等の減少		-	-	
貸付金・基金等の増加		10,000,000	-10,000,000	
貸付金・基金等の減少		-	-	
資産評価差額	-	-	-	
無償所管換等	-	-	-	
その他	-	-	-	
本年度純資産変動額	10,271,515	10,000,000	271,515	
本年度末純資産残高	139,768,889	139,000,000	768,889	

資金収支計算書

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

自治体名: 和歌山地方税回収機構

会計: 一般会計

(単位: 円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	113,034,285
業務費用支出	37,273,510
人件費支出	16,282,881
物件費等支出	20,799,229
支払利息支出	-
その他の支出	191,400
移転費用支出	75,760,775
補助金等支出	75,760,775
社会保障給付支出	-
他会計への繰出支出	-
その他の支出	-
業務収入	123,305,800
税収等収入	104,002,000
国県等補助金収入	19,000,000
使用料及び手数料収入	-
その他の収入	303,800
臨時支出	-
災害復旧事業費支出	-
その他の支出	-
臨時収入	-
業務活動収支	10,271,515
【投資活動収支】	
投資活動支出	10,000,000
公共施設等整備費支出	-
基金積立金支出	10,000,000
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	-
その他の支出	-
投資活動収入	-
国県等補助金収入	-
基金取崩収入	-
貸付金元金回収収入	-
資産売却収入	-
その他の収入	-
投資活動収支	-10,000,000
【財務活動収支】	
財務活動支出	-
地方債償還支出	-
その他の支出	-
財務活動収入	-
地方債発行収入	-
その他の収入	-
財務活動収支	-
本年度資金収支額	271,515
前年度末資金残高	497,374
本年度末資金残高	768,889
前年度末歳計外現金残高	7,488,672
本年度歳計外現金増減額	373,044
本年度末歳計外現金残高	7,861,716
本年度末現金預金残高	8,630,605

基金の明細

自治体名: 和歌山地方税回収機構
年度: 令和4年度

(単位: 円)

種類	現金預金	有価証券	土地	その他	合計 (貸借対照表計上額)	(参考)財産に関する 調書記載額
財政調整基金	139,000,000	0	0	0	139,000,000	129,000,000
合計	139,000,000	0	0	0	139,000,000	129,000,000

補助金等の明細

自治体名:和歌山地方税回収機構
 年度:令和4年度

(単位:円)

区分	名称	相手先	金額	支出目的
他団体への公共施設等整備補助金等 (所有外資産分)				
	計		0	
	派遣職員負担金等	各出向元自治体	75,742,452	
その他の補助金等	非常勤職員公務災害負担金	和歌山県市町村総合事務組合	18,323	
合計	計		75,760,775	
			75,760,775	

財源の明細

自治体名:和歌山地方税回収機構
年度:令和4年度

会計	区分	財源の内容	金額	
一般会計	税収等	分担金及び負担金	104,002,000	
		小計	104,002,000	
	国県等補助金	資本的補助金		
			計	0
		経常的補助金	税収確保推進支援事業費補助金	19,000,000
			計	19,000,000
		小計		19,000,000
合計		123,002,000		

(単位:円)

財源情報の明細

自治体名: 和歌山地方税回収機構
年度: 令和4年度

区分	金額	内訳			その他
		国県等補助金	地方債等	税収等	
純行政コスト	112,730,485	19,000,000	-	93,730,485	-
有形固定資産等の増加	-	-	-	-	-
貸付金・基金等の増加	10,000,000	-	-	10,000,000	-
その他	-	-	-	-	-
合計	122,730,485	19,000,000	-	103,730,485	-

(単位:円)

資金の明細

自治体名:和歌山地方税回収機構
年度:令和4年度

(単位:円)	
種類	本年度末残高
現金	768,889
歳計外現金	7,861,716
合計	8,630,605

注 記

重要な会計方針等

① 有形固定資産等の評価基準及び評価方法

該当ありません。

② 有価証券等の評価基準及び評価方法

該当ありません。

③ 有形固定資産等の減価償却の方法

該当ありません。

④ 引当金の計上基準及び算定方法

該当ありません。

⑤ リース取引の処理方法

【ファイナンスリース取引】

通常の売買取引に係る方法により計上しています。但し、所有権移転外ファイナンスリース取引及び重要性の乏しい所有権移転ファイナンスリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法により計上しています。

【オペレーティングリース取引】

賃貸借取引に係る方法により計上しています。

⑥ 資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物（3ヶ月以内の短期投資等）を資金の範囲としております。このうち現金同等物は、短期投資の他、出納整理期間中の取引により発生する資金の受払いも含んでおります。

⑦ その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

(1) 物品及びソフトウェアの計上基準

物品については取得価格又は見積額が50万円（美術品は300万円）以上の場合に資産として計上しています。

ソフトウェアについても物品の取り扱いに準じています。

(2) 資本的支出と修繕費の区分基準

資本的支出と修繕費の区分基準については、金額が60万円未満であるとき、又は固定資産の取得価格等の概ね10%未満相当額以下であるときに修繕費として処理しています。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理については、税込方式によっております。

重要な会計方針の変更

- ① 会計処理の原則または手続を変更した場合には、その旨、変更の理由及び当該変更が財務書類に与えている影響の内容

変更ありません。

- ② 表示方法を変更した場合には、その旨

変更ありません。

- ③ 資金収支計算書における資金の範囲を変更した場合には、その旨変更の理由及び当該変更が資金収支計算書に与えている影響の内容

変更ありません。

重要な後発事象

- ① 重要な業務の改廃

該当ありません。

- ② 組織・機構の大幅な変更

該当ありません。

- ③ 地方財政制度の大幅な改正

該当ありません。

- ④ 重要な災害等の発生

該当ありません。

- ⑤ その他重要な後発事象

該当ありません。

偶発債務

会計年度末においては現実の債務ではないが、将来、一定の条件を満たすような事態が生じた場合に債務となるものは、次のとおりです。

① 保証債務及び損失補償債務負担の状況

該当ありません。

② 係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているもの

該当ありません。

③ その他主要な偶発債務

該当ありません。

追加情報

① 対象範囲(対象とする会計)

和歌山地方税回収機構一般会計

② 一般会計等と普通会計の対象範囲等の差異

差異ありません。

③ 出納整理期間について

財務書類の作成基準日は、会計年度末（3月31日）ですが、出納整理期間中の現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としております。

（根拠条文 地方自治法 235 条の 5「普通地方公共団体の出納は、翌年度の 5 月 31 日をもって閉鎖する。」）

④ 財務書類の表示金額単位

円単位にて表示しております

⑤ 繰越事業に係る将来の支出予定額

該当ありません。

⑥ その他財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項

該当ありません。

⑦ 基準変更による影響額等

影響額等ありません。

⑧ 売却可能資産に係る資産科目別の金額及びその範囲

該当ありません。

⑨ 純資産における固定資産等形成分及び余剰金(不足分)の内容

純資産の部	内 容
固定資産等形成分	過去に投資を行った資産の現在価格を表します。 貸借対照表の固定資産と流動資産の短期貸付金と基金の簿価になります。
余剰分(不足分)	費消可能な資源の蓄積(原則として金銭)をいいます。 流動資産(短期貸付金及び基金等を除く)から将来現金等支出が見込まれる負債を控除した額になります。

⑩ 基礎的財政収支

(1) 10,271,515 円

【 (業務活動収支+支払利息支出) + (投資活動収支+基金積立金支出-基金取崩収入) 】

(2) 既存の決算情報との関連性

	収入(歳入)	支出(歳出)
歳入歳出決算書	123,803,174 円	113,034,285 円
繰越金に伴う差額	△ 497,374 円	0 円
基金繰入に伴う差額	0 円	10,000,000 円
資金収支計算書	123,305,800 円	123,034,285 円

収入(歳入)の差額は、地方自治第 233 条第 1 項に基づく歳入歳出決算書では「繰越金」が含まれるのに対し、資金収支計算書では含まれないことによるものです。

支出(歳出)の差額は、令和 4 年度決算の実質収支のうち地方自治法第 233 条の 2 の規定による基金繰入額(基金積立金支出)が、地方自治第 233 条第 1 項に基づく歳入歳出決算書では含まれないのに対し、資金収支計算書では含まれることによるものです。

⑪ 資金収支計算書の業務活動収支と純資産変動計算書の本年度差額との差異

項 目	金 額
減 価 償 却 費	0 円
国 庫 等 補 助 金 (投 資 活 動 収 入)	0 円
引 当 金 の 繰 入 と 戻 入	0 円
未 収 金 の 期 首 ・ 期 末 残 高 の 差 異	0 円
資 産 売 却 益	0 円
そ の 他	0 円
合 計	0 円

⑫ 重要な非資金取引

該当ありません。

⑬ 一時借入金

資金収支計算書上、一時借入金の増減額は含まれていません。

なお、一時借入金の限度額及び利子額は次のとおりです。

一時借入金の限度額 0 円

一時借入金に係る利子額 0 円